

## アルビクス・映像 / 音声エラー検出装置 VAD-300

(Ver 2.01)

## 特 長

「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」に抵触する、映像や光の点滅、コントラストの強い画面反転、急激な輝度変化などの「パカパカ」を検知し、LANインターフェース(RJ-45)にて外部へ通知します。

「パカパカ」を検知したシーンをキャプチャしPCにAVIファイルとして取り込むことができます。  
フリーズ、ブラックアウト、無音、レベル異常など基本的な映像 / 音声のエラーも検知し通知します。

## 仕 様

## 映像入力信号

入力信号数	: 1系統		
信号形式	: 映像	: HD-SDI	SMPTE 292M 1080i
		: SD-SDI	SMPTE 259M - C 480i [D1]
	: 音声	: エンベデッドオーディオ	48kHz 16bit 8ch (HD-SDI時) 48kHz 16bit 4ch (SD-SDI時)
	: タイムコード:		
		: HD-SDI	VITC / LTC (エンベデッド)
		: SD-SDI	VITC (VBI)

入力接栓 : BNCコネクタ

## 外部通知

通信仕様	: 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インターフェース
プロトコル	: SNMP
コネクタ	: RJ-45モジュラ

## キャプチャ

インターフェース	: USB 2.0
録画解像度	: 320 × 240 または 160 × 120
ファイル形式	: AVI
コネクタ	: USBコネクタBタイプ

## 管理運用・キャプチャソフトウェア動作環境

インターフェース	: USB 2.0
OS	: WindowsXP SP2
CPU	: Pentium4 1.6GHz以上
RAM	: 1GB以上
ディスプレイ	: 1024 × 768ドット以上
	DirectX9.0以上に対応した機種

外形寸法	: W215 × H44 × D490 mm (1U ハーフサイズ)
重量	: 約 3 kg
電源電圧	: 100V ± 10% AC 50 / 60Hz
消費電力	: 約 25 W
使用温度	: 5 ~ 40

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

[型番]

VAD-300

アルビクス株式会社

[整理番号]

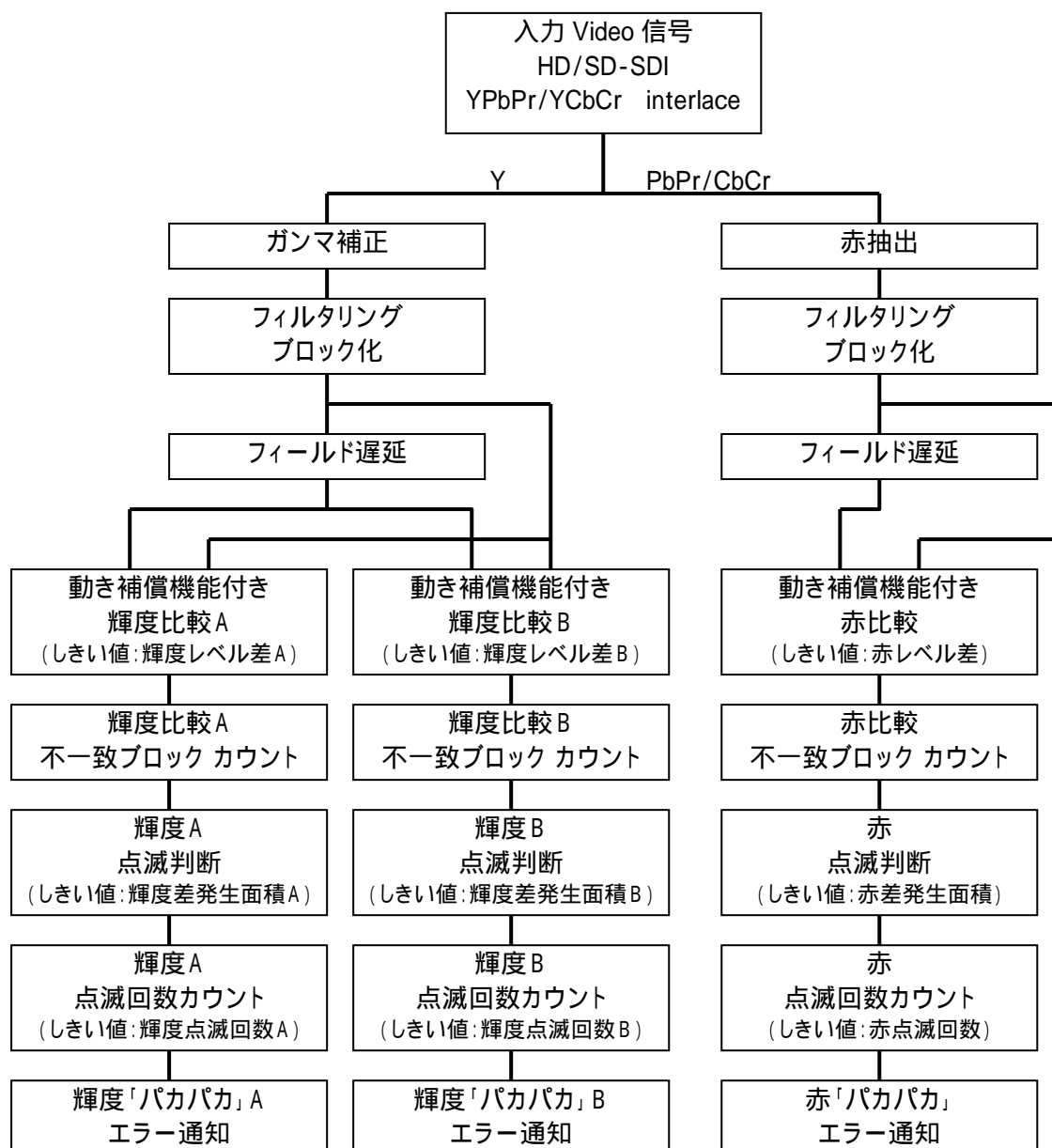
エラー検知項目

1. 映像点滅

:映像点滅「パカパカ」が設定値を超えて発生した場合に検出します。  
 「パカパカ」検知回路は3回路を備えており、各々の「パカパカ」検知の設定値の項目は次のものです。

- ・輝度レベル差A
- ・輝度差発生面積A
- ・輝度点滅回数A
  
- ・輝度レベル差B
- ・輝度差発生面積B
- ・輝度点滅回数B
  
- ・赤レベル差
- ・赤レベル差発生面積
- ・赤点滅回数

「パカパカ」検知回路 概略ブロック図



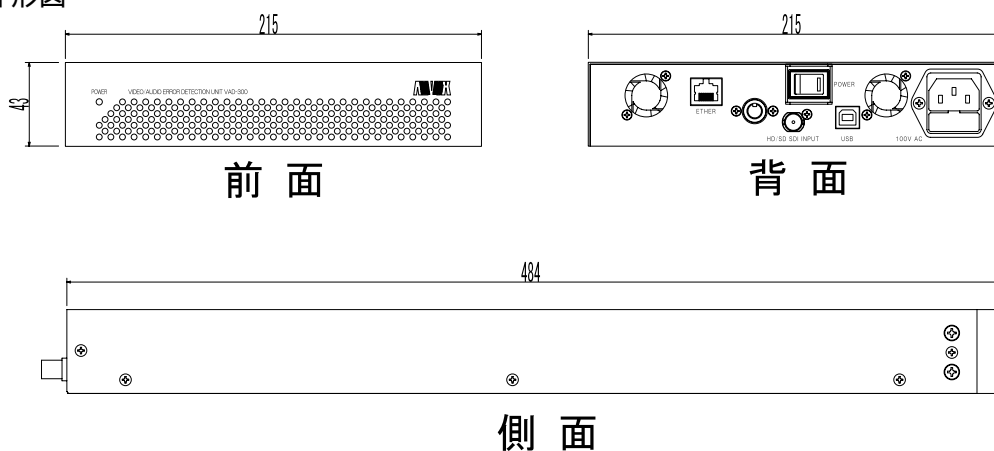
## 2. 基本エラー項目

- 1) SYNC断
- 2) フリーズ:  
フレームメモリに輝度信号を保存し、画面中の動き量を計測します。
- 3) ブラックアウト:  
画面中の輝度情報からブラックアウトを検出します。
- 4) 輝度レベルエラー:  
画面中の輝度成分に設定値(上・下限)を超えるものがないか計測します。
- 5) 色差レベルエラー:  
画面中の色差成分に設定値(上・下限)を超えるものがないか計測します。
- 6) 音声無音
- 7) 音声レベルエラー:  
無音、レベル大小を検知します。
- 8) 音声逆相:  
音声の逆相を抽出します。(Ch1-2間, Ch3-4間, Ch5-6間, Ch7-8間)

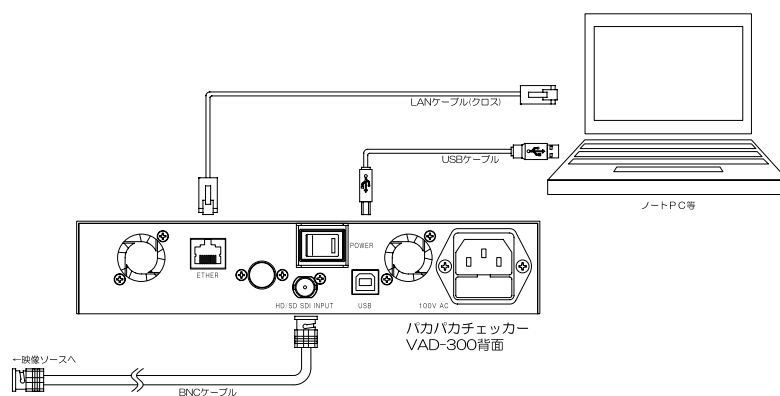
## 3. その他

- 1) 1 KHz:  
音声の1 KHzを検知します。(Ch1, Ch2)
- 2) VITCエラー:  
入力信号のVITCを読みとり、その連続性を監視します。  
(ドロップフレーム方式であるなしに関わらず検知)

## 外形図



## 接続図



仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

【型番】

VAD-300

アルビクス株式会社

【整理番号】